



最終講義のご案内

(兼 令和3年度 第10回 TBRCセミナー)

「サンゴの魅力・失われる楽園」



山城 秀之 教授

(熱帯生物圏研究センター 瀬底研究施設)

日時：2022年3月4日(金) 15:00-16:30

Zoomによるオンライン開催(事前登録制・定員100名)

参加のお申込み：<https://zoom.us/meeting/register/tJAtd-2prTwoEtdWfe2xiaAHcBWuMK0uR8zN>



サンゴを始めサンゴ礁に棲息する様々な生き物たちを観察することはとても楽しく興味がつきない、まさしく秘密の花園である。サンゴは、土台作りと栄養供給の両方からサンゴ礁生態系を支える存在だが、ほんの半世紀で、オニヒトデによる捕食、海水温度の上昇による度重なる白化現象、あるいは細菌性感染症により急激に減少している。将来のサンゴ礁は、高水温や酸性化に強い海藻や海綿に置き換わると予測されており、確かに海綿類が密かに勢力を拡大している実感がある。

本発表では、これまで取り組んできたサンゴにまつわる興味深い事例をいくつか紹介する。サンゴの持つ能力は思いの外広く、石灰化と真逆の骨格を溶解するものや光に向かって動く走光性を示すものがあった。最初は驚いたものの、わかってしまえばその後は常識となった。サンゴを利用する生物の側の戦略にも目を見張るものがあり、サンゴ礁に隠された秘密は無限にあるように思える、従って、サンゴが消える前までにできる限りの記録や観察をしなければならない。一方、数年前から取り組んできたサンゴを覆い殺す難敵の海綿もその動物側に立つと愛着が湧いてくる。今では化石のようなローテクや研究失敗談を含め放談したい。